

国民に対して JOA が何を提供できるのだろうか。



必要とされるスポーツになる

地図を使ったナヴィゲーション技術はアウトドアスポーツの基本スキルである。アウトドアスポーツが多様化してゆく中で地図ナヴィゲーションに対する需要は高まっている。

オリエンテーリングの核心は地図ナヴィゲーションである。JOA は地図ナヴィゲーション技術を他のアウトドアスポーツに提供し、国民の需要に応える。これによりオリエンテーリングが国民より必要とされるスポーツとして認識されることを目指す。

この考えに基づいて、オリエンテーリングと似たスポーツであるロゲイニングにも JOA として積極的に関わってゆく。

ロゲイニング競技にオリエンテーリングの持つナヴィゲーション技術を提供し、ナヴィゲーション競技としての統一性を確保する。これによりロゲイニング愛好家やアウトドア愛好家から、オリエンテーリング技術が尊重（リスペクト）される下地を作る。

JOA は公益社団法人として、公益事業を行うことを宣言している。さらに日本体育協会や JOC にも加入しているのは、他のスポーツとの連携を図る意志の表れでもある。

ナヴィゲーションスポーツの社会的意義

子どもの「生きる力」＝問題解決力・情報処理力を楽しみながら育むことに寄与する。

地図を読み、空間把握する力を養うことにつながり、防災にも直結する。

JOA ナヴィゲーションゲームズ

これを実現する施策のひとつがナヴィゲーションゲームズである。

年間 10 大会ロゲイニング大会を指定し、相互広報を行うことでシリーズ戦としている。

大会ごとに競技者に結果に応じたポイントが与えられ、年間ランキングが作成されている。これによりシリーズ戦に統一性を持たせている。

年間表彰者の条件として JOA の競技者登録を必須としており、オリエンテーリング競技者への誘導が行われている。さらに、指定の条件として、ロゲイニング開催地の会員（都道府県協会）との連携を必須としており、地元が連携するように誘導している。

地図には JOA のロゴを入れていただき、会場には JOA 旗を掲示していただいている。

独立採算事業であり、わずかであるが黒字を JOA にもたらしめている。

年間のべ約 2,000 名のロゲイニング愛好家が JOA ナヴィゲーションゲームズのシリーズ戦に参加している。



霧ヶ峰ロゲイニング 2013 を走る参加者
ロゲイニング競技は、より多くの人をナヴィゲーションの世界へと誘う

れなくなり、アウトドアスポーツ界における存在価値が低下することは否めない。せっかくのアウトドアスポーツの先駆けであるオリエンテーリングがその技術を国民のために利用されないのはあまりにも勿体ない。

JOA 年末対話会

この話をはじめ、JOA に関わる話をざっくばらんに語り合うという催しが 2013 年 12 月 14 日（土）に開催された。全日本リレー大会の開会式前に同じ場所で開催したところ、多くの意識の高い方が参加いただけた。

この中で、各種施策に対する評価方法が乏しいことが指摘された。もっともな意見である。

ナヴィゲーションゲームズの JOA 内部での評価方法について、今のところはコレという内容がない。だが明らかに「良かった」と評価されるためには以下のことが必要だろう。

- ・事業が JOA の負担にならない。むしろ会計的にはプラスになる。
- ・事業そのものに多数の参加者があ
- る。
- ・この事業により仲間が増える。
（登録競技者・各会員との連携者）

意見があれば寄せていただき、できれば自ら実践していただいて、自分たちの思うスポーツの世界を作り上げてみよう。



JOA 年末対話会（2013 年 12 月 14 日）
立正大学（東京）の広い講堂で行われた。

（日本オリエンテーリング協会
業務執行理事 木村佳司）

他アウトドアスポーツとの交流

もしもオリエンテーリングがロゲイニングなど、ほかのナヴィゲーションを必要とするスポーツに関わらなかった場合はどうなるだろうか。

オリエンテーリング技術は必要とさ